

令和5年3月23日

飯田市  
リニア推進部長 細田 仁 様

飯田市議会リニア推進特別委員会  
委員長 小林 真一

飯田市議会リニア推進特別委員会からの提案について

飯田市議会リニア推進特別委員会では、委員会で定めた調査研究課題への取り組みを踏まえ、より良い飯田市となるよう以下の提案をします。

## 記

- 1 提案事項  
別紙「リニア駅周辺整備を起点とした提案」による。
- 2 提案委員会  
飯田市議会 リニア推進特別委員会  
委員長 小林 真一  
副委員長 岡田 倫英  
委員 小平 彰  
委員 市瀬 芳明  
委員 筒井 誠逸  
委員 清水 優一郎  
委員 佐々木 博子  
委員 新井 信一郎

# リニア駅周辺整備を起点とした提案

令和5年3月23日  
リニア推進特別委員会

## 提案1 郊外駅としてリニア時代を見据えた土地利用などの周知等について

- (1) 「駅」を通じたまちの在りたい姿を、郡市民とともに思い描く機会を通して、「駅」を「地域資源をプロデュースし発信する場」と考えるとともに、「3重心による機能と構造のまちづくり」に基づいて広域交通拠点の土地利用方針を更新する考えが示されたが、ウィズコロナの経済情勢をみながらこの考え方が将来の地域振興にどう活かされるのか、一般市民にはわかりにくいとの声があり、市民に理解が得られているとは言い難く、全市的な周知と議論を実施されたい。
- (2) リニア中央新幹線本線整備とともにリニア駅周辺整備にかかわる整備部分については、地域住民をはじめ国内外に広く情報発信していくうえでも、適時的確な情報発信に更に努められたい。また市民からの意見を随時吸い上げる仕組みについて構築するとともに、今後についてもさらに広報し、より多くの市民から広く意見を集約できるよう取り組まれたい。

## 提案2 JR飯田線とのアクセスをはじめとするリニアの2次交通について

- (1) リニアの2次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、AI等の技術を活用したスマートモビリティの実装については検討が始まったようであるが、目に見える成果が示されていない。検討内容を随時示しながら下記の点について留意されたい。
  - ① 「大学のあるまちづくり」など様々な角度からの検討が必要であり、「次世代インフラプロジェクト」を含め、観光面の視点や、交通弱者など、自家用車に頼らない生活も提案できる新交通システムの検討を、技術の進歩に遅れることが無いように努められたい。
  - ② リニア駅と在来線との接続について、あらためて「スムーズな乗り換え」を念頭に、長期的な費用対効果を検討されたい。
  - ③ 各方面のアクセスについて、ハード、ソフトを含めた時代の先を見据えた幅広い視点からの研究と、下伊那郡部の皆様との意見交換や情報共有をより密にされたい。

### **提案3 デザインノート（基本設計）からの考察と現状について**

- (1) 「大屋根」の設置やあり方の検討を進めるとともに、設計からメンテナンス（維持管理）及び景観に至るまでの総合的な検討について、今よりさらに取り組みを強化されたい。
- (2) ランドスケープの推進については、信州大学（ランドスケープ・プランニング共同研究講座）との連携などに引き続き配慮した取り組みを強化されたい。
- (3) 土木の実施設計が発表された以降についても、地元のみならず広域、及び伊那谷自治体会議に参画する自治体、住民など、幅広い皆さんからの意見を聞く機会を設けられたい。
- (4) デザインノートの内容については、令和4年度における土木の実施設計を反映させた改訂版が来年度作成予定であるが、デザインノート改訂版作成を含め、修正内容が決定した時点で住民をはじめ広く周知に努められたい。

### **提案4 財政見直しについて**

- (1) 事業費のさらなる圧縮と駅空間における収入の増加策の研究が求められ、県とともに、リニア沿線の間駅設置の自治体との連携を図ることで、財源確保に向けた国への働きかけを強化されたい。
- (2) 市の10年間の財政見通しが示されたが、今後見込まれるリニア関連事業以外を含む大規模な事業の施工時期等については、更なる精査と「事業の平準化」を図られたい。
- (3) コロナ禍やウクライナ侵攻、物価高など、財政へ与える影響は大きいため、社会情勢を注視しつつ、必要な財政執行に取り組まれたい。

### **提案5 リニア駅周辺整備に関係する市民への対応**

- (1) 移転を余儀なくされる住民の皆さん、及び事業所等の皆さんをはじめとする駅周辺整備に関係する市民に対して、今後、具体的な工事の着手がより住民に近い所で行われるため、引き続き事業の丁寧な説明を行われたい。
- (2) 説明会等へ出席できない市民の皆さんや声なき声にも耳を傾けて、目指すリニア駅の姿の実現に向けてのご協力、ご理解が得られるよう、努められたい。
- (3) 広域的な道路ネットワーク整備の必要性、リニア駅周辺整備事業の計画の可変性も含み、地権者、移転対象者への情報公開に努められたい。

- (4) 広域的な地域振興向上のため、他自治体との協議・連携を今よりさらに密に実施されたい。
- (5) リニア関連道路改良整備における迂回路対策については地元住民から安全面をはじめとする様々な不安の声がある。迂回路と住宅や店舗に伴う取付け道路については地元住民に寄り添った対応に努められたい。また改良整備については複数の場所が同時期の道路整備となることから、地元地域にはより丁寧な工事説明に取り組まれたい。

## **提案6 公民協働のさらなる推進をはじめ、3つのプロジェクトについて**

- (1) リニア開業時期が不透明な中で民間企業の進出が不安視されるが、開業していなくても新たなビジネスが創出されるなど、経済効果を意識した取り組みを強化されたい。
- (2) 公民協働ブランドプロジェクトは、これからの取り組みが重要となる。4つの検討テーマ(※1)については関係する組織と密に検討を行い、更なる魅力発信の推進、市民意識の醸成にも繋げられたい。
- (3) 3つのプロジェクト(※2)の推進にあたっては、取り組み内容に濃淡なくすべてのプロジェクトに全力で取り組み、プロジェクト連携会議を密に行い方針内容に齟齬が生じないように進められたい。

(※1) 4つの検討テーマ

- ・「地域ブランドの構築」
- ・「管理運営事業体の組成」
- ・「広場、高架下空間への展開と活用」
- ・「情報発信」

(※2) 3つのプロジェクト

- ・「次世代インフラプロジェクト」
- ・「トータルデザインプロジェクト」
- ・「公民協働ブランドプロジェクト」